

地域公共圏の再生と創出の人間論的基礎－水俣と近代

岩岡中正・丸山定巳
伊藤洋典・永松俊雄

本プロジェクトは、平成14年度に企画した研究 COE 応募プロジェクト「『地域公共圏』の再生と創出」の人間論的政策論の一部をなすものとして、その実現への一助として計画したものである。

I 基本計画として、本研究期間の前半では、各メンバーがさらにそれぞれの分担部分での研究の蓄積や発信を行い、後半でそれぞれの成果を持ち寄って討議し研究実績をまとめるという方法をとることとした。前半期における各人の研究活動の主要なものは以下の通りである。

(1) 丸山定巳担当 地域公共圏の再生－水俣を中心に－

1. 6月27～29日 環境社会学会セミナー－水俣－で基調報告「セミナーを機縁に」
2. 9月6日 都市社会学会（成蹊大学）で研究報告（「企業都市と公共空間－水俣の事例から」）

(2) 岩岡中正担当 脱近代へのパラダイム転換と共同性の回復

1. 5月8日 渡辺京二×岩岡中正対談「石牟礼文学をどう読むか」（渡辺京二編『近代をどう超えるか』弦書房）を出版。
2. 10月4日 「政策の基礎を考える－価値観の転換と政策」（熊本大学公開講座・熊本大学）を講義。
3. 10月4日 石牟礼道子×岩岡中正「石牟礼文学の世界－新作能『不知火』をめぐる」（熊本大学国語国文学会・熊本大学）を対談講演。

(3) 伊藤洋典担当 公共圏の意味転換と公共市民の形成

1. 8月28～30日 「湯布院・町づくり政策研究ゼミ」（大分県・湯布院町）を主催。
2. 12月1日 21世紀分権国家構想研究ゼミ（平松・前大分県知事を招いて）を主催（熊本大学）。
3. 12月12～14日 「中山間地域町づくり政策に関する5大学合同研究ゼミ」（熊本県芦北町）へ参加。

(4) 永松俊雄担当 水俣をめぐる政策形成の実証的研究

1. 「水俣問題にみる中央政府と地方政府関係」を研究し、その成果を「政策過程の『非形成』に関する実証的研究」としてまとめ、「社会文化科学研究」2号（2004年3月）に掲載予定。

II 以上をふまえて後半期では、これらの個別研究の集約をはかったが、また同時に学内研究拠点B（「脱近代社会の秩序形成の原理と政策に関する研究」）にも応募・採択され、これとともに研究と出版に向けた計画を進めている。平成16年1月20日までの主な活動は、以下の通りである。

1. 打合せ及び研究会

平成15年10月2日、8日	研究打合せ会	12月25日	研究報告会
11月28日	〃	平成16年1月5日	〃
12月4日	〃	1月20日	研究打合せ会

2. 成果発表（『地域自立の思想と行動－脱近代社会と地域公共圏の再構築』－仮題、の一部として平成16年3月にナカニシヤ出版より刊行予定）（以下、いずれも予定）

- ・ 岩岡中正「序－コスモスの崩壊と再生」
- ・ 〃 「石牟礼道子と脱近代知の創出－新作能『不知火』の思想」
- ・ 〃 「(石牟礼道子×岩岡中正対談) 石牟礼道子・新作能『不知火』の世界」
- ・ 伊藤洋典「公共空間という地域」
- ・ 〃 「中谷健太郎が語る『まち』と『まちづくり』」(編)
- ・ 永松俊雄「中央地方関係を支配する2つのルール」